



逃げろ！



避難訓練



避難訓練

3月27日、広丘消防署指導のもと、防災訓練を実施しました。

1月1日に能登半島で大きな地震が発生しました。天災はいつ来るかわかりません。日頃からいざという時のために、命を守る訓練をしておく必要があります。

40代の頃に読んだ本に、「人生とは自分が自分に出した最適な問題集である。自分で問題を出す以上、人生で直面する試練は頑張れば自分の手の届くことができる課題なので、どんな困難に直面しても自分で解決できない問題は無い。また人生で学ぶべき問題を解く上で最適な条件・環境（時代、場所、両親、家族等）を選んで生まれてくる。特に両親は、絶対この親でなければならないとの強い意志を持って選んでいる」とありました。

悩みも苦しみも多い日常ですが、それも全て自分が出した課題だと思えば大変ではあるが、ちょっと安心したような、感謝しないではいけない気持ちにもなります。

また「自分を出す問題で一番難しい問題は、障がいや重い病気を持って生きることであり、海外では神様に挑戦することを許された特別な人々とも言われている。障がい者は、そんな難度の高い問題に挑戦するに値する、素晴らしい勇気を持ち、遠い過去から十分に学びを積んで来られた方々で、言わば人生の大先輩である」とありました。

私は、社会に出てからは情報機器の開発設計の仕事一筋にやってきましたが、一方で上記の本に出会ってから、障がい者の方々と一緒に仕事をしてみたいとの思いを持っていました。あるタイミングで希望が叶い、障がい者が働いている特例子会社へ出向させていただき、それ以来20年程、障がい者の方々と一緒に

仕事をして来ました。

今はちゅーりっぷで、個性（能力）豊かな、素晴らしい障がい者の方々と接している毎日です。彼らと一緒に居ると、こうゆう風に生きられたら最高だなと思う瞬間があります。まさに大きな学びとエネルギーを頂いている、人生の達人たちです。

現在の社会システムが、健常者向けに作られている中、障がい者にとって、生活していく上で不便な面が多くあります。不便を不便と感じなくなるように支援をさせていただき、「共に生きる社会」から、更に「共に幸せになる社会」になることを夢見ています。

きれいに！



食品関係梱包作業

## 作業を通して

目標工賃達成指導員 座間 勤子

ちゅーりっぷに入り5月下旬で丸2年になります。これまでいろいろな仕事を経験させていただきましたが、今は主にある事業所の社員食堂の準備と片付けを、利用者3名と一緒にを行っています。

既定の時間内で行う内容が多く、スピードも問われ、4人がそれぞれの動きを見ながら、協力して行う仕事です。

心掛けていることは、その人が発した言葉そのまま受け取るのではなく、いくつかの質問をして、本当は何を伝えなかったのか、ということを考えるようにしています。

これからもよろしくお願ひいたします。

よいしょ



穴あけ作業